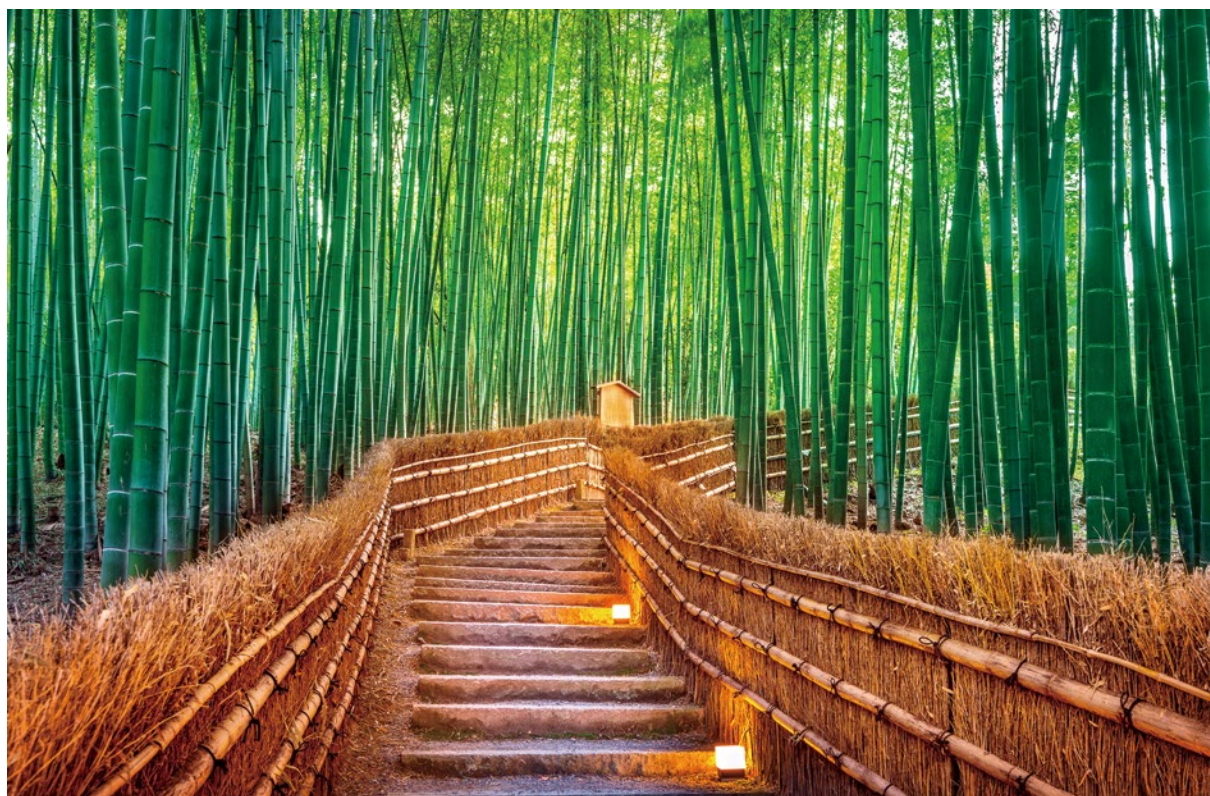




GUIDE TO
**GLOBAL
LEARNING**
RITSUMEIKAN UNIVERSITY

世界の大学と日本の大学 両方で学ぶ、新たな時代に。



世界の大学と日本の大学 両方で学ぶ、新たな時代に。



立命館大学は、海外の大学と立命館大学の両方で学ぶ学部・学科、
全てのカリキュラムを英語で学ぶ専攻やコースなど、新たなグローバル教育を展開しています。
国籍を超えた仲間が集い、日本にいながらにして海外で学んでいるような環境に身を置き、グローバル社会で活躍できる力を養います。
世界につながるあなたの未来は、立命館大学のキャンパスから始まります。

英語学位プログラムウェブサイト
admission.ritsumeikai.ac.jp/english_degree_programs ▶



	海外大学と立命館大学の学位を取得する		日本にいながら英語で学位を取得する			
学部 学科/専攻/コース	グローバル教養学部 (GLA) P.4-5	国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科 (JDP) P.6	国際関係学部 グローバル・ スタディーズ専攻 (GS) P.7	政策科学部 Community and Regional Policy Studies 専攻 (CRPS) P.8	情報理工学部 Information Systems Science and Engineering Course (ISSE) P.9	
取得できる学位 (学士)	グローバル教養学 (立命館大学) アジア太平洋学 (オーストラリア国立大学)	グローバル国際関係学 (立命館大学、アメリカン大学共同学位)	国際関係学 (立命館大学)	政策科学 (立命館大学)	工学 (立命館大学)	
キャンパス	大阪いばらきキャンパス (大阪) キャンベラ (オーストラリア)	衣笠キャンパス (京都) ワシントンD.C. (アメリカ)	衣笠キャンパス (京都)	大阪いばらきキャンパス (大阪)	大阪いばらきキャンパス (大阪)	
入学時期	4月 / 9月	4月	4月 / 9月	9月	4月	
対象となる入試方式	4月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・帰国生徒 (外国学校就学経験者) 入学試験 (1期、2期) ・AO 選抜入学試験 (10月選考、12月選考) ・AO 英語基準入学試験 9月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・AO 英語基準入学試験 	4月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・帰国生徒 (外国学校就学経験者) 入学試験 (1期、2期) ・AO 選抜入学試験 (10月選考、12月選考) ・AO 英語基準入学試験 	4月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・AO 選抜入学試験 ・AO 英語基準入学試験 ・一般選抜 IR 方式 (英語資格試験利用型) 9月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・AO 英語基準入学試験 	9月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・AO 英語基準入学試験 	4月入学 <ul style="list-style-type: none"> ・AO 選抜入学試験 ・AO 英語基準入学試験 	
授業料 (2026年度) ※別途入学料が必要です。 ※2027年度入学者に適用する学費は改定する可能性があり、2026年6月下旬に決定する予定です。最新の情報は、立命館大学の入試情報サイト (https://admission.ritsumeikai.ac.jp/about/fee/) をご確認ください。	春学期：1,200,000円、秋学期：1,200,000円 ※デュアル・ディグリー・プログラムの履修に関し、オーストラリア国立大学が実施する授業について、授業料の別徴収は行いません。ただし、日本およびオーストラリアでの受講に関わる渡航費・寮費・生活費等は別途必要になります。	立命館大学 春学期：719,600円、秋学期：719,600円 アメリカン大学 (2回生秋学期～4回生春学期) 1セメスター：\$31,340 (12～17.99単位) ※アメリカン大学の学費は毎年変動します。	春学期：719,600円、秋学期：719,600円	春学期：665,800円、秋学期：665,800円	春学期：885,800円、秋学期：885,800円	
給付制奨学金	グローバル教養学部海外教学プログラム奨学金 [※] このプログラムでオーストラリア国立大学に留学する者全員に70万円が支給されます。 立命館大学海外留学チャレンジ奨学金 [※] このプログラムでオーストラリア国立大学に留学する者全員に30万円が支給されます。 ※これらの奨学金の内容は変更される場合があります。またこれらの奨学金は併給できますが、立命館大学が定める他の奨学金とは併給できない場合があります。	立命館大学海外留学チャレンジ奨学金 [※] 1学期50万円を最大2年間 (4学期間) 支給 (総額200万円) 授業料減免制度 [※] 上記の奨学金に加え、アメリカン大学で学修する最初の1年間 (2学期間)、授業料 (学費) の30%相当が減免されます。その後も、一定の成績条件を満たせば、授業料減免を継続して受けることが出来ます。 ※これらの奨学金は変更される場合があります。	海外留学対象プログラムへの参加者全員に支給される奨学金制度やその他の奨学金制度があります。	海外留学対象プログラムへの参加者全員に支給される奨学金制度やその他の奨学金制度があります。	+R学部奨学金 毎年12月に1回生から4回生の優れた研究成果を発表する場として開催されるPSアカデミック・フェスタ。政策科学部での1年間の学びの集大成であるこの研究発表会の入賞者に2万円～4万円が支給されます。	海外留学対象プログラムへの参加者全員に支給される奨学金制度やその他の奨学金制度があります。

グローバル教養学部

グローバル教養学科

College of Global Liberal Arts

GLA [大阪いばらきキャンパス]



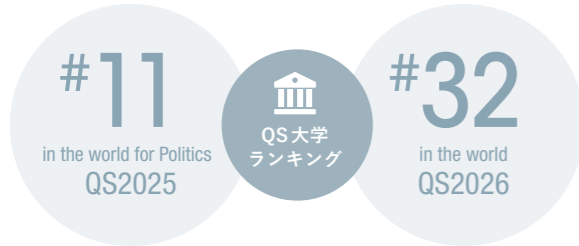
デュアル・ディグリー・プログラム

世界の名門大学であるオーストラリア国立大学 ANU College of Asia and the Pacificと提携し、4年間で立命館大学とANUの2つの学位取得を目指すデュアル・ディグリー・プログラム[※]を実施しています。条件をクリアすると、卒業時に立命館大学の学士（グローバル教養学）とANUの学士（アジア太平洋学）が取得できます。

※ANU TEQSA Provider ID: PRV12002 (Australian University) | ANU CRICOS Provider Code: 00120C

オーストラリア国立大学 (ANU)

1946年設立。首都キャンベラに位置するオーストラリア唯一の国立大学です(学生約17,000名が在籍)。QS世界ランキングでは総合評価で世界32位(2026年度)、科目別ランキングの政治分野において世界11位(2025年度)にランクインするなど、世界でも上位に格付けされており、さまざまな分野で活躍する学者や著名人を多く輩出していることでも有名です。グローバル教養学部とパートナーを組むANU College of Asia and the Pacificは、アジア・太平洋地域研究のスペシャリストが数多く集まる、英語圏で最大規模の研究拠点です。また、キャンベラは多文化都市としても有名です。ANUにも約7,000名(2024年度)の留学生在籍しています。緑豊かな落ち着いた雰囲気は、勉強に集中しやすい環境としても優れています。



学びの流れ

学生は、立命館大学大阪いばらきキャンパス (OIC) で3年間を過ごし、オーストラリアのキャンベラにあるANUアクトンキャンパスに1年間留学します。4月入学の場合は、2年目の秋学期から3年目の春学期まで、9月入学の場合は、3年目の1年間、ANUで学びます。留学前後のセメスターは、OICで立命館大学とANUの科目を同時に履修し、4年間で両大学の学位取得を目指します。なお、2回生から始まるANUの科目を履修するためには、ANUによる入学審査を受ける必要があります。

カリキュラムの詳細はこちら



※ANUによる入学審査の詳細は、グローバル教養学部ウェブサイトでご確認ください。

4月入学

Year 1		Year 2		Year 3		Year 4	
Spring 1	Fall 2	Spring 3	Fall 4	Spring 5	Fall 6	Spring 7	Fall 8
RU Courses		RU + ANU Courses		ANU Courses		RU + ANU Courses	

9月入学

Year 1		Year 2		Year 3		Year 4	
Fall 1	Spring 2	Fall 3	Spring 4	Fall 5	Spring 6	Fall 7	Spring 8
RU Courses		RU + ANU Courses		ANU Courses		RU + ANU Courses	

ANUによる入学審査

ANUによる入学審査が、立命館大学 (RU) 入学後に実施されます。審査により入学が許可された場合、ANUの科目の履修を開始することができ、引き続き、両大学の学位取得を目指します。不合格となった場合、シングル・ディグリー・トラックであるRU専攻において、立命館大学の「学士(グローバル教養学)」の学位取得を目指すことが可能です。ANUによる入学審査では「英語要件」と「成績要件」を満たす必要があります。「英語要件」の審査は、立命館大学入学直後に実施されます。「成績要件」の審査は立命館大学入学後、32単位の受講を終えた学期末(原則として2セメスター目の終了時)に実施されます。詳細は、グローバル教養学部ウェブサイトでご確認ください。

グローバル教養学部ウェブサイトはこちら



プログラムの特色

知識を活かすための知の技法を学ぶ、世界に通ずるリベラル・アーツの学び

立命館大学のカリキュラムでは、「リベラル・アーツ」の名のとおり、文理にまたがるさまざまな学問の基礎が体系的に学べます。哲学、歴史学、政治学、経済学、社会学、カルチュラル・スタディーズ、国際関係論、データサイエンス・AI、経営学、デザイン学、心理学、持続可能エネルギー研究、教育学、障がい学、言語学などの学びを通じて、知識を社会発展や問題解決に活用するための力を徹底的に鍛えます。また、卒業後の進路を見据えて、文理にまたがるさまざまな科目を選びながら、自分に合った学修スタイルをテイラーメイドで編み出していくことができます。

哲学	歴史学	政治学	経済学	社会学
カルチュラル・スタディーズ	国際関係論	データサイエンス・AI	経営学	デザイン学
心理学	持続可能エネルギー研究	教育学	障がい学	言語学

ANU College of Asia and the Pacificによるアジア太平洋地域の専門的な学び

オーストラリア国立大学 ANU College of Asia and the Pacificでは、世界やアジア太平洋地域の政治学、安全保障、外交、戦略立案に関する研究、教育、政策分析で世界をリードするCoral Bell School of Asia Pacific Affairs (通称: Bell School)で、アジア太平洋地域についての学びを深めます。今日の国際政治と世界経済を分析するための一流の知識を習得するとともに、卒業後のキャリアにもつながる豊かな人脈を築きます。

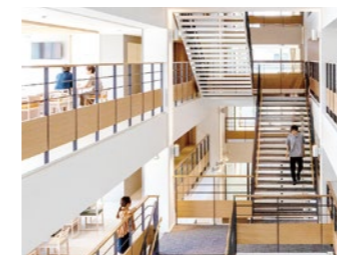


全ての授業をアクティブ・ラーニング型で実施

全ての授業は、教員とのコミュニケーションを重視した講義形式と、世界中から集まった学生同士のディスカッションやグループワークを主体としたチュートリアルを組み合わせたアクティブ・ラーニング型で実施されます。

OICグローバルハウス

OICグローバルハウスは、大阪いばらきキャンパス (OIC) 内に2019年に竣工した分林記念館の中にある国際寮です。グローバル教養学部の学生が中心となって入寮し、「キャンパスの中で、共に学び、共に暮らす」生活を送っています。個室タイプの寮室を200室用意するとともに、茶室・日本庭園・能舞台を備えた多目的ホール等、日本文化が感じられる多様な国際交流の場を設けています。



ANU Accommodation

ANU College of Asia and the Pacificの一部であるCoral Bell School of Asia Pacific Affairsの学舎は、オーストラリアの首都キャンベラにあり、公園のようなキャンパスの中にあります。また、ANUには食事付き・無しなどのさまざまなタイプの学生寮があり、留学時はその一つに入寮することになります。詳細は、ANUウェブサイト[※]をご確認ください。

※ANUウェブサイトはこちら





ジョイント・ディグリー・プログラム

立命館大学国際関係学部とアメリカン大学 School of International Serviceが、共同で1つのカリキュラムを提供し、そのカリキュラムを修了した学生に両大学が共同で1つの学位（学士「グローバル国際関係学」）を授与するプログラムです。

アメリカン大学

アメリカン大学は1893年創立の名門私立大学。School of International Serviceは、国際関係学のスクールとしては全米で最大規模を誇ります（約3,000名の学生が在籍）。ワシントンD.C.のキャンパスには、約130の国・地域から留学生が集います。“Foreign Policy”誌の2024年度国際関係学全米大学ランキングでは、学部・大学院修士課程のいずれも全米8位と高く評価されています。



学びの流れ

立命館大学で学修を開始する学生（RU Home Students）とアメリカン大学で学修を開始する学生（AU Home Students）が共に学びます。RU Home Studentsは、最初の1年半を立命館大学で、その後の2年間をアメリカン大学、最終の半年を立命館大学で学びます。当プログラムは立命館大学とアメリカン大学の間で丁寧にデザインされており、統合された1つのカリキュラムで学ぶため、研究指導等も日・米両大学の教員が連携して一貫性のある指導を行います。

立命館大学 HOME	1年目		2年目		3年目		4年目	
	Spring 1	Fall 2	Spring 3	Fall 4	Spring 5	Fall 6	Spring 7	Fall 8
	立命館大学	立命館大学	立命館大学	アメリカン大学	アメリカン大学	アメリカン大学	アメリカン大学	立命館大学
	Core/Foundation/Cohort Courses				Instruction linked to Seminars and Senior Capstone Program		Senior Capstone Program (Seminar)	
	Academic Skills (Building Foundations of Academic Writing)		Research Methods					
	Japanese/English (if necessary)		Thematic and Regional Courses					

American University HOME	1年目		2年目		3年目		4年目	
	Fall 1	Spring 2	Fall 3	Spring 4	Fall 5	Spring 6	Fall 7	Spring 8
	アメリカン大学	アメリカン大学	立命館大学	立命館大学	立命館大学	立命館大学	アメリカン大学	アメリカン大学
	Foundation/Cohort Courses				Instruction linked to Seminars and Senior Capstone Program		Senior Capstone Program	
	Japanese		Research Methods, Seminars					
	Thematic and Regional Courses							

※学習言語は英語です。



プログラムの特色

グローバル国際関係学とは

これまでの「国際関係学」は、西洋、欧米的視点によって発展してきましたが、近年の急速なグローバル化に伴い、非西洋的視点の必要性が国際関係学の世界でも議論されています。「グローバル国際関係学」とは、これまでそれぞれの国で国際関係学を研究してきた、アメリカン大学と立命館大学が、西洋・非西洋それぞれの視点からこれまでの国際関係学を考え直していく、これまでに無い新しい挑戦です。

日・米両国の特色を活かした学習指導

ジョイント・ディグリー・プログラムでは、立命館大学とアメリカン大学の教員・職員が連携して、一貫性のある学習指導を行います。両大学のアドバイザーが連携しながらそれぞれの学生に丁寧なアカデミック・アドバイジング（履修指導）を行い、学生1人1人に合わせて丁寧な研究指導を行うなど、日・米両国それぞれの利点、特色を活かした学修支援を行います。



国際政治の中枢、ワシントンD.C.と文化・学術都市、京都で学ぶ

ワシントンD.C.では、インターンシップやゲストレクチャー等、国際政治の中枢を体感できる環境でのアクティブ・ラーニングを行います。このプログラムの学生の約9割が、ワシントンD.C.でインターンシップを経験しています。京都では、右記のグローバル・スタディーズ専攻の学生や、立命館で学修中のAU Home Studentsと共に、日本にいながらも留学しているような環境下で全て英語で行われる授業を受講します。2つの国際都市で日米両方の視点から国際関係学を修得できるのが特徴です。

世界から集う留学生と共に英語で学び 日本と世界の架け橋を目指す

2011年に開設したグローバル・スタディーズ専攻は、英語で国際関係学を学ぶ専攻です。カリキュラムは35年を超える歴史をもつ国際関係学部の体系的な学びを英語で可能にしたものです。この専攻では、日々の学びを活かして長期留学プログラムに参加し、世界で国際関係学を追求する学生も多いです。

プログラムの特色

多くの留学生と切磋琢磨する

1学年100名の定員のうち、国内入試で入学する学生が約50%、国際入試で入学する留学生が約50%、2026年4月現在、約30カ国・地域の学生が学んでいます。日本にいながらにして海外で学んでいるような環境で、多くの留学生と切磋琢磨しながら過ごします。4年間で高度な英語運用能力が養えるほか、多様な文化や価値観に触れることで真の国際コミュニケーションや文化理解の機会を持つことができます。

国際色豊かで、多様な研究を進める教員体制

国際関係学部には、欧米、ラテンアメリカ、東アジア、東南アジア、中東、アフリカといった世界中の地域を研究対象とする教員、あるいはUNHCRやIMF、世界銀行といった国際機関での勤務経験がある教員が在籍しています。教員の出身国・地域もアメリカ、イギリス、フランスといった欧米だけでなく、中国、韓国、インドなど、多様性に富んでいます。加えて、実務の現場を知り尽くした客員教授陣が現場のリアルな感覚を伝え、国際経験豊かな教員から国際関係学を体系的に学び、国際感覚を磨くことができます。

日本語でも学び、専門性を深める

日本語で開講される科目を一部受講することができます。英語を中心としながらも、関心のあるテーマについては日本語で学び、より一層知識を深めることが可能です。



Community and Regional Policy Studies 専攻

College of Policy Science
Community and Regional Policy Studies Major

CRPS [大阪いばらきキャンパス]



グローバルな環境で、 政策科学を英語で学ぶ

2013年9月に開設したCommunity and Regional Policy Studies専攻(CRPS)は、全ての授業が英語で行われ、英語のみで卒業可能な専攻です(外国語科目を除く)。1学年40名定員と少人数で、15以上の国・地域からの留学生が8割を占める国際色豊かな環境で、きめ細やかなサポートを受けることができます。グローバルな視点と政策実践力を持った人材育成を目的とし、現代社会で生じる政策課題に対する問題解決能力の習得を目指します。

1回生では、PBL(Project/Problem-based Learning)の基礎となる批判的思考力や政策科学の研究に必要な基礎知識を身につけます。さらに2回生時には、グループを組んでフィールド調査を実施し、これらの経験を礎としてプログラムに継続して取り組むなかで、政策科学の研究に必要な知識や思考力を深め、3回生で「Policy Seminar」、4回生時には「Case Study Seminar」を受講し、自らの研究テーマについて卒業論文を執筆することを目指します。



プログラムの特色

さまざまなバックグラウンドを持った教員

政策科学部は、経営学、経済学、社会学、政治学、法学をはじめとした社会科学だけではなく、自然科学、環境、都市計画などさまざまなバックグラウンドを持った教員で構成されています。多角的視野で問題アプローチを実践するとともに、学生のみなさんが興味を持ったさまざまな分野に対応できる体制となっています。

実践的な学びを通して、問題を発見し、解決する

実践的な実習に重点を置き、日本国内または海外でのフィールド調査の機会を豊富に設けています。社会調査や現地調査を通して得た知見と、授業で学ぶ理論を交互にフィードバックすることで、社会における問題に対して、より具体的に重層的な解決策が提示できます。調査・研究の1年間の集大成として、回生ごとに発表の場が設けられており、それぞれの最優秀者が研究成果を発表する研究発表会、PSアカデミック・フェスタを毎年実施しています。

[2026年度 Introduction to On-site Research Summer Session]

フィリピン、タイ、ベトナム、カナダ、日韓相互理解、南信州、京都市右京区、茨木



フィリピンプロジェクト



淡路島の地域振興プロジェクト

日本語でも学び、専門性を深める

日本語で授業を行う政策科学専攻の講義の一部を受講することができます。また条件を満たせば、政策科学専攻のゼミ受講も可能です。英語での履修を中心としながらも、関心のあるテーマについては日本語で学び、より一層知識を深めることが可能です。



Core Programs

Sustainable Urban Policy	Urban Planning for Sustainable Cities, Community Safety, Housing and Policy, Disaster Mitigation, Systems Analysis, Environmental Education, Nature Conservation
Regional Economy and Development	Development Economics, Regional Development, Economic Institutions, Public Economics, International Trade and Finance
Multi-level Governance	Inter-Government Relations and Cooperation, Global Public Policies, Public Management, Constitutional Law, Social Welfare Policies

Information Systems Science and Engineering Course

College of Information Science and Engineering
Information Systems Science and Engineering Course

ISSE [大阪いばらきキャンパス]



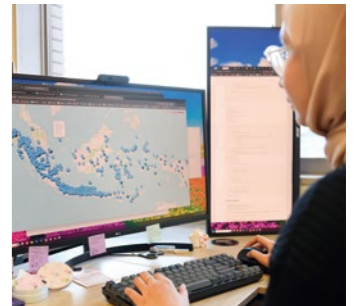
日本人学生と留学生が 共に最先端のICT分野を英語で学ぶ

現代の情報通信技術(ICT)にかかわる分野は、多くの国・地域から集まった多様な人材によって目覚ましい進歩を遂げています。Information Systems Science and Engineering Course (ISSE)の教育目的は、この急速に進歩するICT分野で、国際的なチームのメンバーとして、イノベーターとして、そしてリーダーとして活躍できる人材を育成することにあります。

ISSEコースは英語で実施される授業のみで卒業可能なコースです。1回生春学期から3回生春学期まではPBL科目(Project-Based Learning: 課題解決型学習)を中心に基礎専門科目を学び、3回生秋学期からは専門科目を通じて学びを深めつつ卒業研究に取り組みます。こうした4年間の学びにより、学生はグローバルな環境で実践的に問題解決ができるようになることを目指します。

情報理工学部では、学生全員が3回生春学期中に所属する研究室を決定し、秋学期から卒業研究に取り組みます。ISSEコースには魅力あふれる5つの研究室があり、ICT分野における最先端の研究活動を日々行っています。

- Visual Information Engineering Laboratory
- e-Society Laboratory
- Affective Engineering and Computer Arts Laboratory
- Intelligent Computer Entertainment Laboratory
- Digital Governance Systems Laboratory



学びの流れ

回生	概要	主な履修科目	
1回生 春学期	自然科学、数学、語学などの基礎学力、情報技術者としての正しい倫理観、情報科学における各分野の基礎知識を修得することを目指します。	PBL 1	Introduction to Experimentation
		Engineering Mathematics 1	Professional Ethics
1回生 秋学期	ISSEコースの専門分野を学ぶために必要な基礎を固めるとともに、プログラミング言語およびその技法に関する知識、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの分野に関する基礎的な知識を修得します。	PBL 2	Programming Practice 1
		Engineering Mathematics 2~3	Experimental Design
2回生 ~ 3回生 春学期	情報系の専門科目を学ぶために必要な応用数学系の科目の履修をさらに進め、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの分野における基本的な原理や理論を体系的に理解するための共通専門科目を履修します。	PBL 3~5	Data Structures and Algorithms
		Engineering Mathematics 4	Imperative Programming
		Programming Practice 2	
3回生 秋学期 以降	自身のキャリアを意識した専門科目や専門技術の修得を目指すとともに、卒業研究に取り組みます。	Graduation Research 1~3	Data Visualization
		Data Science	Introduction to Robotic Systems

Going Abroad

海外派遣

留学可能な大学・機関

世界**35**カ国・地域、**157**大学・機関に留学が可能です。(2025年5月1日現在)

America

- [アメリカ] アパラチアン州立大学
アメリカン大学
アラバマ大学
アルフレッド大学
イリノイカレッジ
オクラホマ大学
オハイオノーザン大学
カリフォルニア州立大学
モンテレーベイ校
カリフォルニア州立大学
ロングビーチ校
サンディエゴ州立大学
サンフランシスコ大学
シモンズカレッジ
ジェームズ・マディソン大学
昭和ポストン
ジョージアカレッジ&
ステート大学
テネシー工科大学
デポール大学
ニューメキシコ大学
ニューヨーク州立大学
ブラツクパーク校
ノースカロライナ大学
グリーンズボロ校
ノーステキサス大学
バトラー大学
ピッツバーグ大学
フロリダ国際大学
ミシシッピ大学
ミネソタ大学
ツインシティーズ校
ラトガーズ大学
ヴァッサー大学
- [カナダ] オカナガンカレッジ
クイーンズ大学
サイモン・フレージャー大学
トロント大学
ビクトリア大学
ブリティッシュ・
コロンビア大学

Mexico

- [メキシコ] メキシコ大学院大学
モンテレイ工科大学
- [アルゼンチン] ラ・プラタ大学

Asia

- [韓国] 亜細亜大学
韓国カトリック大学
慶熙大学
高麗大学
淑明女子大学
成均館大学
中央大学
釜山国立大学
延世大学
梨花女子大学
ソウル市立大学
西江大学
- [中国] 広西師範大学
上海交通大学
吉林大学
深圳大学
西南大学
西南政法大學
对外経済貿易大学
東北財経大学
南開大学
南京大學
武漢大学
北京大学
北京航空航天大学
- [香港] 香港大学
香港中文大学
- [台湾] 国立政治大学
国立台湾大学
国立台湾師範大学
国立中山大学
淡江大学
東海大学
逢甲大学

タイ

- [タイ] タマサート大学
チュロンコン大学
マヒドン大学

インド

- [インド] O.P.ジנדガルグローバル大学

インドネシア

- [インドネシア] インドネシア大学
ガジャマダ大学
シンガポール国立大学
バンドン工科大学

シンガポール

- [シンガポール] シンガポール国立大学
ニール・アン・ポリテクニク

フィリピン

- [フィリピン] フィリピン大学

ベトナム

- [ベトナム] ハノイ貿易大学

マレーシア

- [マレーシア] マレーシア科学大学

Oceania

- [オーストラリア] オーストラリア国立大学
クイーンズランド大学
クイーンズランド工科大学
サンシャインコースト大学
シドニー大学
西オーストラリア大学
ニューサウスウェールズ大学
マコーリー大学
メルボルン大学
ラ・トロープ大学
- [ニュージーランド] オークランド大学
オタゴ・ポリテクニク
ヴィクトリア大学ウェリントン

Europe

- [アイスランド] アイスランド大学
- [アイルランド] 国立ダブリンシティ大学

イギリス

- [イギリス] イースト・アングリア大学
エジンバラ大学
カーディフ大学
キングスカレッジ・ロンドン
シェフィールド大学
マンチェスター大学
ヨーク大学
リーズ大学
ロンドン大学 SOAS
ロンドン大学
ロイヤルホロウェイ

イタリア

- [イタリア] ナポリ東洋大学
ベネチア大学
トリノ大学
ポローニャ大学
ローマ・ラ・サピエンツァ大学

オランダ

- [オランダ] ライデン大学
ラドバウド大学

スイス

- [スイス] ルツェルン応用科学芸術大学

スウェーデン

- [スウェーデン] セーデルテルン大学
マルメ大学
ヨンスショーピング大学
リンネ大学
ルンド大学

スペイン

- [スペイン] アリカンテ大学
アルカラ大学
グラナダ大学
ハエン大学
バスク大学
バルセロナ自治大学

チェコ

- [チェコ] カレル大学
マサリク大学

デンマーク

- [デンマーク] コペンハーゲン・
ビジネススクール
コペンハーゲン大学
南デンマーク大学

ドイツ

- [ドイツ] ヴュルツブルク大学
ケルン大学
ザーラント大学
チュービンゲン大学
フライブルク大学
ベルリン・フンボルト大学
ライプツィヒ大学

ノルウェー

- [ノルウェー] インランドノルウェー大学
ベルゲン大学

ハンガリー

- [ハンガリー] エトヴェシュ・ロラード大学
ブダペスト経済商科大学

フィンランド

- [フィンランド] トゥルク大学
ヘルシンキ大学

フランス

- [フランス] ICN ビジネススクール
エクスマルセイユ大学
エクセリアグループ
トゥールーズ・ジャン・
ジョレス大学
パリ・シテ大学

ポランド

- [ポランド] フランス国立高等師範学校
ポルドーモンターニュ大学
ポルドー政治学院
リヨン第3大学

ルーマニア

- [ルーマニア] ユーロペアン大学
ルーマニア・アメリカ大学

Africa

- [エジプト] エジプト日本科学技術大学



※学生交換等の協定を締結している大学を基準にして掲載しています(一部変動が含まれます)。 ※立命館大学国際教育センター HP では、最新の海外留学情報を掲載しています。



Diversity on Campus

多様な個性が集い成長する環境

79カ国・地域から集まった3,384名

世界各国・地域の学生と学ぶ

立命館大学では79カ国・地域から集まった3,384名の留学生が学んでいます。授業のみならず、大学生活のさまざまな場面でオンラインも含め留学生と交流することができ、留学生をサポートする活動機会も広がっています。

留学生チューター (TISA[※])

学生が主体となって、留学生を生活・学修の両面から支援したり、国際交流企画の運営を行っています。これらの活動を通じて相互理解を深め、共に成長することができます。現在、留学生を含む多くの学生が留学生チューター (TISA) として活動しています。
※TISA (Tutors for International Students Assembly)

「国際寮」での交流

各キャンパス近郊には、それぞれ留学生のための国際寮が設置されています。留学生のサポート役として、現役学生によるレジデント・メンター (RM) が留学生と共に生活しています。留学生が日本での生活に困らないよう、日本の慣習を教えたり、行政手続きのサポートをしたり、寮内におけるイベント企画運営に取り組むなどして活躍しています。

留学生受入数											
中国	2,025人	パキスタン	16人	ウズベキスタン	7人	ナイジェリア	3人	(マカオ)	1人	ポーランド	1人
韓国	577人	キルギス	15人	タジキスタン	7人	デンマーク	3人	アルバニア	1人	ホンジュラス	1人
インドネシア	93人	スペイン	13人	ラオス	7人	カザフスタン	2人	オマーン	1人	マリ	1人
アメリカ	86人	ドイツ	12人	フィリピン	6人	リトアニア	2人	ガボン	1人	モロッコ	1人
台湾	75人	モンゴル	11人	スイス	6人	オーストリア	2人	キューバ	1人	スロバキア	1人
ベトナム	56人	イギリス	11人	モルディブ	6人	イスラエル	2人	グアテマラ	1人	スロベニア	1人
インド	41人	シンガポール	9人	エジプト	6人	ウガンダ	2人	クウェート	1人	エストニア	1人
マレーシア	34人	カナダ	9人	ガーナ	5人	エチオピア	2人	コロンビア	1人	オランダ	1人
ミャンマー	34人	ネパール	9人	ウクライナ	4人	ブルキナファソ	2人	ソロモン諸島	1人	チェコ	1人
オーストラリア	21人	ノルウェー	9人	ロシア	4人	ブルネイ	2人	ナミビア	1人		
バングラデシュ	19人	トルコ	8人	スリランカ	4人	ハンガリー	2人	バーレーン	1人		
(香港)	18人	カンボジア	8人	アフガニスタン	4人	ルーマニア	2人	ブータン	1人		
フランス	18人	イタリア	8人	ペルー	3人	フィンランド	2人	ベラルーシ	1人		
タイ	17人	メキシコ	7人	スウェーデン	3人	ポルトガル	2人	ベリーズ	1人	総計	3,384人

(2025年5月1日現在) ※留学生とは、在留資格「留学」を取得できるもので外国籍を持つものをいう。

Voice | 学生インタビュー |

国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科 (JDP) を選んだ理由

私は立命館宇治高校でIB (国際バカロレア) プログラムを履修しました。Global Politics (国際政治) の授業をきっかけに国際関係学に興味を持ち、大学でもこの分野を学びたいと思うようになりました。もともと海外大学への進学を考えていた私にとって、アメリカン大学で2年間学べるこのJDPのプログラムはとても魅力的でした。充実した奨学金制度もあり、中学・高校で一緒に過ごしてきた立命館の仲間と日本で大学生活を送れることもいいなと思いJDPを志望しました。

学ぶ中で感じたプログラムの魅力

立命館大学の国際関係学部は、多様な人が集まる本当に国際的な環境だと感じています。授業では日本人学生より留学生の方が多く、世界中から来た学生とディスカッションを通じて学ぶことができます。また、タイでの国連研修や広島でのピースセミナーなど、授業外でも国際関係を学べる機会にたくさん参加できました。アメリカン大学はワシントンD.C.にあり、政治を身近に感じられる環境にあります。大統領選挙や各国のリーダーの訪問など、実際に国際政治の動きを近くで感じながら国際関係学を学べることはとても貴重だと思います。また、桜まつりや日本文化に関するイベントなども多く、日米のつながりを実感できる点も魅力だと感じています。

力を注いでいる課外活動

アメリカン大学では、テニス部の女子キャプテンを務めています。現地のコミュニティーにも溶け込めることができ、とても良い仲間に出会うことができました。また、国際経済学の授業のティーチングアシスタント (TA) として、キャンパス内でチュータリングセッションも行っています。

卒業後の夢や展望

卒業後は大学院への進学を考えています。大学で得た知識や経験をもとに、国際関係学をさらに深く学びたいです。日米関係を中心に、環太平洋とアジア地域の外交について理解を深め、将来は日本とアメリカの架け橋になれるような仕事に携わりたいと考えています。

小林 優さん

国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科

※記事内容は、2026年4月の取材当時のものです。



Tidal Basin (ワシントンD.C.)にて

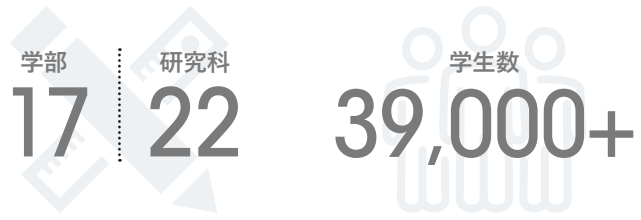
Beyond Borders Plaza (BBP)

BBPは、国境の壁、文化の壁、言葉の壁など、さまざまなBordersを越えてつながり共に学ぶ、国際交流や外国語学習ができるグローバル・コモンズです。
海外留学にチャレンジしたい、留学生と交流したい、外国語学習の相談がしたいなど、みなさんのニーズに応じたさまざまなアクティビティを開催しています。
もちろん、学生のみならず、主体となってイベントを企画・実施することもできます。積極的にBBPを活用してください。



About Ritsumeikan University

立命館大学は、社会科学・人文科学・自然科学に跨る17の学部、22の研究科をもつ総合大学です。学びの関心や目的もさまざまな、約39,000人の学生が集まっています。学部ごとの学びに加え、留学、インターンシップ、資格取得、約400のクラブ・サークルなど正課外の活動も多様です。また、学習・生活・就職・留学などさまざまな分野で学生サポーターが存在し、学生同士の学びあい(ピア・サポート)の風土が根づいています。



衣笠キャンパス



大阪いばらきキャンパス

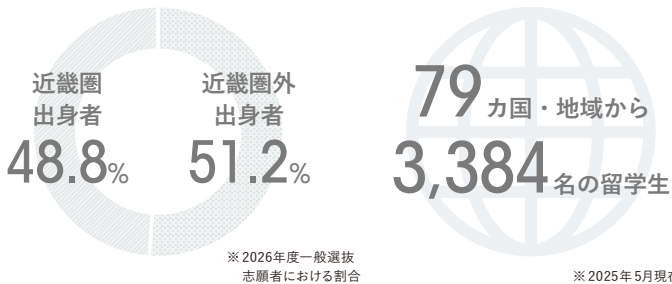


びわこ・くさつキャンパス

Why Choose Ritsumeikan

多文化共生キャンパス

全国・世界中からさまざまなボーダーを越えて集まった仲間が共に学んでおり、大学生活のあらゆる場面で交流しています。国内学生は約半数が近畿圏外から、また国際学生は78カ国・地域の出身者がキャンパスに集い、文化や価値観の違いなどを互いに認め合いながら、新たな価値を創造しています。



「世界のトップ2%の科学者」に 本学から54名がランクイン

米国スタンフォード大学とエルゼビア社による「世界のトップ2%の科学者」を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」(2025年度版)が更新され、立命館大学から54名の科学者が選出されました。さらなるイノベーションの創出、また地球規模で生起する社会問題への対処、教育への還元などを積極的に行っています。



世界の
トップ2%の科学者
54名の教員が選出

次世代研究大学

人類・自然・地域社会の発展に貢献する研究大学として、最先端の取り組みに挑戦しています。研究を推進するために多彩な研究所・研究センターを設置し、基礎から応用まで幅広い活動を展開すると同時に、国や地方公共団体、産業界との研究交流にも積極的に取り組み、成果を社会に還元しています。文部科学省から助成される競争的研究資金のひとつ科学研究費助成事業では、全国レベルの実績を誇っています。また、世界大学ランキングの向上に向けた取り組みも進めています。



[お問い合わせ先]
立命館大学入学センター 国際入学課
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL: 075-465-8162
E-mail: hello@st.ritsumeikan.ac.jp

プログラム詳細、入試情報はこちら

admission.ritsumeikan.ac.jp/english_degree_programs

